



文部科学大臣

松本洋平

科学技術・イノベーションは、我が国の経済・社会の基盤であると同時に、国内外の社会課題の解決に貢献し、人類全体の持続可能で強靱な社会の発展を支える源泉です。近年、社会構造や国際情勢等が大きく変化している中で、科学技術・イノベーションは国家の情勢に決定的な役割を果たすものとなりつつあり、特にその基盤となる基礎研究・学術研究については、変動する世界を見据えた戦略性や不確実な未来に向けた多様性の観点がますます重要となっています。

こうした考えのもと、政府としては、研究力を国力につなげることをスローガンとして、「第7期科学技術・イノベーション基本計画」を策定し、本年4月よりその取組を開始しました。本計画では、研究システムの刷新や研究大学の組織の機能強化、官民投資の拡充等を推進する「科学の再興」をはじめ、我が国が取り組む今後5年間の科学技術・イノベーション政策の道筋を記載しております。

今回の白書の第1部では、第7期基本計画の内容をより分かりやすくお伝えするために、「科学とイノベーションが切り拓く我が国の未来」と題して、2025年にノーベル賞を受賞された坂口先生・北川先生の研究成果と社会実装に向けた取組を紹介するとともに、科学の再興や技術領域の戦略的重点化をはじめとする、第7期基本計画が目指す姿を解説しています。

本白書が、国民の皆様にとって、科学技術・イノベーションの在り方を考える上での一助になることを願うとともに、政府としても、科学技術・イノベーションの振興に、より一層努力してまいりたいと考えています。

国民の皆様の一層の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。